

葛城市

葛城市が目指す子育て環境

葛城市では、「葛城にいだかれ 親も子ども笑顔で育つまちづくり」を基本理念として、子どもが健やかに成長することができ、誰もが安心して楽しみながら子育てができる環境づくりを進めています。地域全体で子どもや子育て家庭を温かく見守っていくことにより、子育てにかかわるすべての人が笑顔で生活していくことのできるまちをめざしています。

1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

| ①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間） | | | | | |
|------------------------------|----------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------|----|
| 増減率 | 順位 | うち自然増減 | | うち社会増減 | |
| | | 増減率 | 順位 | 増減率 | 順位 |
| +7.4% (▲6.2%) | 3位 | +0.8% (▲2.1%) | 7位 | +6.6% (▲4.1%) | 3位 |
| ②合計特殊出生率 | | | ③有配偶出生率 | | |
| H20～24年(年率) | 順位 | 対H15～19年(年率)増減 | | 15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数 | |
| 1.45 (1.29) | 3位 | +0.14 (+0.06) | H27年 | 順位 | |
| | | | 91.3 (74.4) | 2位 | |
| ④出生数(人) | ⑤年少人口割合(15歳未満) | | | | |
| H30年 | H30年10月 | 順位 | 対25年10月増減 | | |
| 299 (8,947) | 15.2% (12.0%) | 2位 | ▲0.1%ポイント (▲0.7%ポイント) | | |
| ⑥子育て世代割合(25～44歳) | | | | | |
| H30年10月 | 順位 | 対25年10月増減 | | | |
| 22.9% (20.7%) | 3位 | ▲3.5%ポイント (▲3.8%ポイント) | | | |

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 子どもの人口は、近年、微増傾向にあり、共働き世帯の増加に伴う多様化する保育ニーズへの対応が必要。
- ② 核家族化が進む中、子育てに対する不安感や孤立感、家庭や地域の養育力の低下を防ぐため、子どもを守る地域ネットワーク機能を強化することが必要。
- ③ 幼保無償化に伴い、さらなる保育ニーズの増加が見込まれることから、待機児童の増加を防ぎ、解消に向けた施策（保育所の受入れ体制の強化と幼稚園の預かり保育の充実等）の検討が必要。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 葛城市の未来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長し、日々笑顔で過ごすことができるようにする。
- ② 施策は、「子育てを支える環境づくり」、「子どもが健やかに育つ環境づくり」「生きる力を育む環境づくり」「子育てと仕事の両立ができる環境づくり」「子どもの安心・安全を確保する環境づくり」の5本柱とする。
- ③ 重点分野は、保育ニーズの増加による待機児童解消に向けた保育士の安定確保及び教育・保育事業の受け皿確保のための取り組み。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 妊産婦や乳幼児を対象に母子保健支援や子育て支援を含む包括的なサービスを切れ目なく実施。
- ② 共働き世帯が安心して子育てと仕事の両立をするためのサービスを実施。（ファミリー・サポート・センター事業、放課後児童健全育成事業等）
- ③ 子どもや子育てに関する相談窓口を一元化した「こども・若者サポートセンター」を設置し、妊娠期から子育て期、就学期、就労にいたるまで、一環した切れ目のない支援を実施。
- ④ 子どもの健やかな成長や保護者の経済的負担の軽減を目的に、高校生の子どもまで（18歳に達する日以後の最初の3月31日まで）を対象に医療費助成を実施。

5 多様な主体による子育て支援の取組

地域の民生委員が生後4ヶ月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児不安や育児環境等について早期に把握し、地域で子育てを支援。

詳しくは 葛城市ホームページ <http://www.katsuragi.jp>